核データ情報、評価専門部会
データ検索システムW．G．第6回会合議事録

日　　時　　昭和４５年１月２２日（木）　13.40～17.00

場　　所　　日本原子力研究所東海研究所　V.d.G.建屋２９号室

出 席 者　　（五十音順）

五十嵐信一，岡本浩一，金森善彦，河原崎雄紀，中川庸雄，
中嶋竜三（法大），西村和明，更田豊治郎，山越寿夫（船研）
吉村富雄（船研）

配布資料　　な　し

議　　事

1. 前回議事録確認

訂正なし

尚，前回議事録に書かれている通り，「電子計算機システムの調査報告の作成」に関して，昨年１２月１９日に開かれた合同会合で提案したが，積極的反応がなかった。炉定数専門部会はまだ開かれていない。

2. Computer System の調査

この調査のためのアンケートの作成について討論され，その大まかな内容と，その担当者が次の通り決定された。

a，国外の data center宛

(1) 機種とその詳細（機名，Core の大きさ，補助メモリー，I/O，System diagram）

(2) 主な使用目的

(3) 仕事の内わけ

(4) 将来の計画

(5) 稼動率

(6) 問題点（trouble）

(7) 人を含む現実の operation

(8) User の範囲

(9) Central computer との関係

担当者 （飯島），五十嵐，岡本，中川，中嶋，西村，更田

このアンケートに関しては，対外的な問題であるのでアンケートを取ることの可否も含めて本委員会にはかることになった。

b，国内の User 宛

(1) 核データ・センターに独立の Computer を入れることを望むか？

(2) 現実的に考えて，専用 Computer に関連したことで，核データ・センターになにを望むか？

(3) どんな機械が欲しいか？

(4) どんな仕事に使うか？その頻度は？

（理論，データ検索，データ処理，プロット等）

(5) 現状についての意見

(6) 計算センター（大型 Computerのある）との関連をどう考えるか？

さらにはっきりとアンケートの目的を示す，前文をつけることになった。

担当者 （浅見），五十嵐，金森，（加藤），中川，西村，更田

（注） User とは次のいずれかに属する人である。

シグマ委員，シールド委員，元シグマ委員，シグマ委員候補

アンケートを取る以外の調査としては次の２つが考えられた。

担当者は次の通りである。

a，既存の Computer system の調査

NEAC, FACŌM, TŌSBAC, HITAC, MELCŌM, ŌKITAC 等

担当者 （飯島），（川合），山越，吉村

b，文献，資料等の調査

特に担当者は決めない。

さらに，原研の計算センターの人，Computer の専門家等とも，話し合うべきであることが確認された。

（注） 担当者の（ ）内は欠席のため未確定の人。

3. ＮＥＵＤＡＤＡの書き換えについて

仕事としては

外注仕様書を書くこと

Modification を考えること

が考えられる。

担当者 五十嵐，河原崎，（田中），中川，（八谷）

次 回 ３月１２日 東海で行う。

Time スケジュールを立てる。

文献，資料等の調査に関する話を１～２つ。

ＩＮＩＳの話などを計算センターの磯田氏から聞くことを依頼してみる。

次次回ぐらいに，Computer maker の人の話を東京で聞きたいという希望が出された。

以 上